

HULFT

CASE STUDY

HULFT
HULFT-HUB

太陽生命保険株式会社



全国約150の支社と本社間の業務データ連携を支える
ファイル転送基盤をHULFTおよびHULFT-HUBで刷新
先進的な保険サービスを支える戦略的なIT活用が加速



太陽生命保険株式会社

全国約150の支社と本社間の業務データ連携を支える ファイル転送基盤をHULFTおよびHULFT-HUBで刷新 先進的な保険サービスを支える戦略的なIT活用が加速

T&D保険グループの一員として、業界最高水準のサービス提供に努める太陽生命保険。同社は全国約150の支社と本社をつなぐファイル転送基盤をHULFTおよびHULFT-HUBで再構築した。新たなファイル転送基盤は容量制限なくデータの送受信を行える上、送達確認や後続処理のエラー検知の自動化も実現。ファイル転送作業の大幅な効率化・省力化につながっている。新たな支店の追加に柔軟に対応できるのも大きなメリットだ。先進的な保険サービスを次々展開する同社のビジネスの中で、新たなファイル転送基盤は重要な役割を担っている。



太陽生命保険株式会社
IT企画部 課長
池田 睦氏



T&D情報システム株式会社
テクニカルサポート一部
藤田 雄次氏

User Profile



太陽生命保険株式会社

本社
東京都中央区日本橋2-7-1

設立
1948年2月

資本金
1,250億円(資本準備金含む、2015年3月末現在)

売上高
8,652億円(2014年度)

従業員数
内勤職員2,457名、営業職員8,432名、
顧客サービス職員301名(2015年3月末)

事業内容
スローガンは「最優の生活保障をご家庭にお届けする生命保険会社」。高齢化社会を見据えたシニア層向け保険商品の拡充に注力し、必要な保険を自由に選んで組み立てられる「保険組曲Best」、認知症治療を支援する業界初の「ひまわり認知症治療保険」、保険金や給付金の支払い手続きを内務員が直接サポートする「かけつけ隊サービス」などを提供する。

最優の商品・サービスの提供を通じて、顧客満足度トップの保険会社を目指す太陽生命保険。加入年齢の範囲を85歳まで拡大した「保険組曲Best」、認知症治療を支援する業界初の保険商品「ひまわり認知症治療保険」、内務員がお客様を直接訪問して保険金や給付金の支払い手続きをサポートする「かけつけ隊サービス」などニーズを先取りした先進的な商品・サービスを数多く提供する。

本社／支社間の基幹業務を支える ファイル転送基盤の運用が煩雑化

こうした事業展開を支える上でITシステムは重要な役割を担う。「常に先を見据えた保険サービスを展開するためには、業務部門の求めるスピードや柔軟性に迅速に応えることが重要です。業務をリードする提案型のIT戦略を推進しています」と太陽生命保険の池田睦氏は話す。

その戦略を具現化する取り組みも積極的に進めている。本社と支社間をつなぐファイル転送基盤「D-HUB」の見直しを図ったのはその一環だ。

D-HUBは本社と全国約150の支社をつなぐWAN回線とメッセージング・ミドルウェアで連携させたファイル転送基

盤。日々の営業情報やお客様の保険契約情報、集金情報などをバッチやリアルタイムで送受信する。

具体的には支社から上がってきた情報を加工した上で基幹業務システムに取り込み、業務データとして活用する。本社側でチェックした情報を各支社にフィードバックする役割も担う。D-HUBはそのための重要な基盤。全支社を合わせると、1日にやりとりするファイル数は約700件にのぼる。

このシステムはメッセージング・ミドルウェアをベースに、基幹業務システムへの取り込みなど後続処理の仕組みを自前で作り込んだもの。ファイル転送の送達確認は可能だが、後続処理で発生したエラーを系統的に検知することができなかった。そこで本社側に運用管理の専任担当を配置し、エラーが発生した場合は人的に検知・対処していた。

「エラー原因の特定や対処を行うには本社側や支社側のサーバーにログインしなければならず、管理が煩雑です。基幹業務システムのOSのバージョンアップなどがあると、D-HUBの修正も必要。影響調査をした上で修正・リコンパイルを行い、確認のために試験も行わなければなりません」と太陽生命保

険のシステム構築・運用をサポートするT&D情報システムの藤田雄次氏は課題を述べる。

転送ファイルサイズの制限も大きな課題だった。「従来のシステムは1回の転送サイズが100MB未満だったため、大容量のファイルは送れませんでした。なかには20分割して送らなければならないこともありました」と藤田氏は続ける。

多様な文字コード変換に対応し 後続処理を含めた一元管理が可能

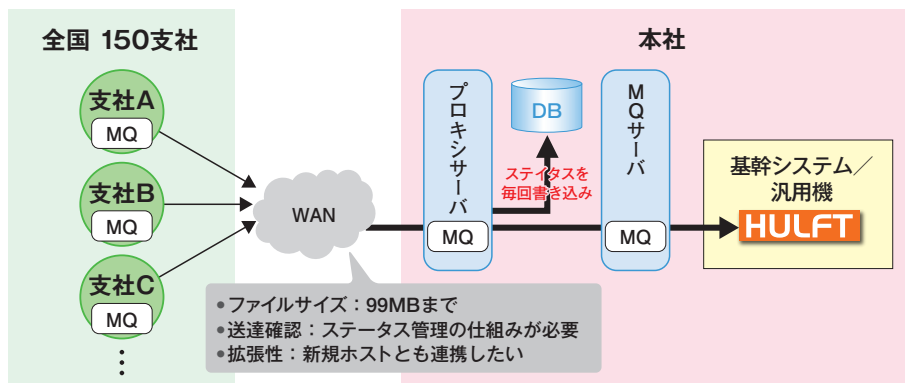
こうした課題を解決するソリューションとして採用したのが、セゾン情報システムズのHULFTおよびHULFT-HUBである。

決め手の1つが、多様な文字コード変換に対応している点だ。顧客情報の中には氏名に異体字を用いるものがあり、システム間の連携でコード変換が必要になる。そこで同社は外字テーブルを使って変換を行っていたが、従来のコード変換を継承できないと、顧客情報管理に混乱が生じてしまう。

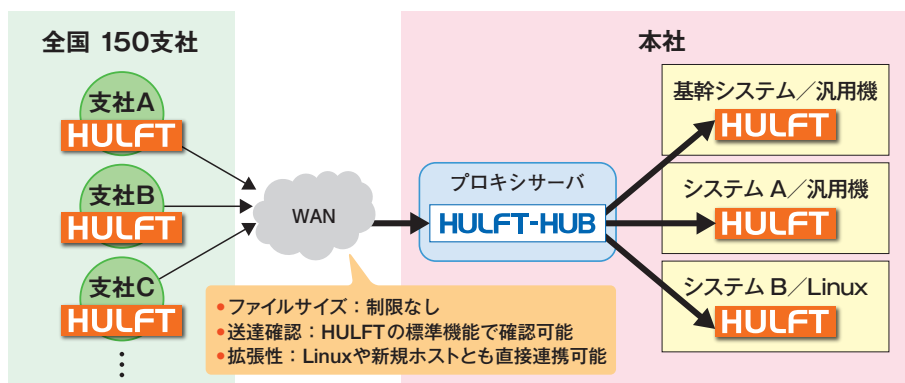
その点、HULFTは多様な文字コードに対応し、柔軟なコード変換が可能だ。「従来のルールを変えずに、本社と支社間のデータ連携をスムーズに行えます」（池田氏）。大容量のファイル転送に対応するHULFTの標準機能を活かせば、従来行っていた分割送信の手間も不要になる。

これまでの実績も重視した。同社は以前から複数のホストで構成される基幹業務システムのデータ連携基盤にHULFTを活用している。「ミッションクリティカルなデータ伝送を支える信頼性・安定性を高く評価しています」と話す池田氏。しかもマルチプラットフォームに対応し、本社のUNIXサーバーやホストコンピュータ、支社のWindows系サーバーでも利用できる。「D-HUB

HULFT導入前



HULFT導入後



ファイル転送基盤におけるHULFTとHULFT-HUBの活用イメージ

従来はメッセージング・ミドルウェアをベースに独自に作り込みを行ったシステム。転送容量に制限があり、後続処理のエラー検出も困難だった。今は転送容量の制限がなくなり、送達確認や後続処理のエラー検出も自動かつ一元的に行える。

に代わるファイル転送基盤として安心して使えると判断しました」と池田氏は評価する。

そしてHULFT-HUBを使えば、本社と各支社間とつなぐHULFTの集中管理が可能になる。「HULFT-HUBの標準機能を活用することで、特別な作り込みを行うことなく、ファイル転送の送達確認のほか、後続処理の正常性まで一元的に確認できます」（藤田氏）。

HULFT-HUBは転送ファイル情報を蓄積し、自動再送することも可能だ。停電などで一時的に送信処理が滞っても、自動再送できるのだ。「従来のD-HUBで行っていた自動再送を継承できることも大きな選定ポイントになりました」と藤田氏は述べる。

属人的な監視・運用作業を脱却 支社の追加に伴う作業工数も激減

新たなファイル転送基盤の実現により、同社は様々なメリットを実感している。

まず挙げられるのが、ファイル転送作業の効率化だ。ファイル転送サイズに制限がないため、大容量のファイルも分割せず一回で送ることができる。ファイル転送処理の確認作業も容易かつスピーディに行えるようになった。

例えば、どの支社間とのファイル送受信でエラーが出たのか——。以前は常駐する担当者が人的に検知しなければならず、復旧までに何時間もかかることがあった。またバッチ処理の場合、夜間にエラーが出てファイル転送が止まり、それを朝になって気づくこともあった

という。必要なデータが業務システムに落とし込まれていないと、その後の現場業務も滞ってしまう。「今はどこでどんなエラーが出たか、HULFT-HUB上で即座に検知できるため、エラー対応は数十分程度で完了できます」と藤田氏はメリットを語る。

人が張り付いてエラーを検知する必要がないため、専任担当者が常駐する必要もなくなった。その分の人的工数の削減はもちろん、D-HUB運用のために行っていた人材教育やスキルトランスファーも不要になる。「貴重な人材を、より戦略的なIT活用に充てられるメリットは非常に大きい」と池田氏は満足感を示す。

ファイル転送基盤の柔軟性・拡張性も向上した。営業力強化の一環として、今後同社では支社の拡充を計画している。新たにファイル転送基盤に支社を追加する場合もHULFTなら容易に追加が可能だ。従来は作り込みのアプリケーション部分や基幹業務システムへの影響を考慮し、休日を中心に作業を行っていた。計画から追加作業、テストまで含めて最低でも数週間かかる。



しかし、今は支社側にHULFTをインストールし、HULFT-HUBに登録すれば運用が可能。実質、数十分程度の作業で支社の追加を行えるという。

セゾン情報システムズの対応力も高く評価する。特殊な異体字を用いる顧客の氏名は、デフォルトの変換ルールだけでは対応できない場合がある。「特殊なコード変換処理について問い合わせた際、セゾン情報システムズはこちらの意図を理解し、迅速かつ的確に対応し

てくれました。コード変換に関する豊富なノウハウと機敏な対応力のおかげで、新たなファイル転送基盤をスムーズに構築できました」と藤田氏は語る。

常に時代の先を見据えた保険サービスを展開する太陽生命保険。今後は業務基盤を支える新たなファイル転送基盤をベースに本社／支社間の緊密なデータ連携を加速し、よりきめ細かなサービス提供に努めることで、さらなる成長を目指す構えだ。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD. [お問合せ先]
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620
※利用時間 9:15~17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT事業部 〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 21F TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830	西日本営業部 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16 肥後橋MIDビル4F TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152
名古屋営業所 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル 21F TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592	九州サテライトオフィス 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27 九勤博多駅前ビル TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

HULFT Pte.Ltd.
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #35-07
Singapore 048624
TEL +65 6248 4625 FAX +65 6248 4501

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp